

これまで県議会質問で取り上げ、政策提言を行い、成果を上げた政策

これまで、県議会において、代表質問、一般質問をはじめ、予算・決算特別委員会、常任委員会、特別委員会で幾度となく質問を行い、執行部に対して政策提言を行ってきました。



以下、この一年間の質疑応答と成果についてお伝えします。

◎2026年4月からの本庁組織再編について（25年12月 総務委員会）

◎大濠公園能楽堂を活用した伝統芸能の継承・発展について（25年12月議会 一般質問）

◎伝統文化の継承・発展のための県及び教育委員会の取り組みについて（25年12月議会 一般質問）

◎福岡県水道ビジョンを踏まえた水道法改正に係る水道事業の民営化問題について（25年10月 決算特別委員会）

◎玄海原子力発電所上空で三つの光が確認されたという事案について（25年9月 総務委員会）

◎ペロブスカイト太陽電池の普及促進について（25年8月 総務委員会）

◎福岡県警察の少年育成指導官と少年補導員について（25年6月 一般質問）

◎国民健康保険の収納率向上について（25年6月議会 一般質問）

◎少子社会で選ばれる県警察について（25年6月 予算特別委員会）

◎旧統一教会及び関連団体への福岡県の施設使用許可の見直しについて（25年2月 総務委員会）



上記の質疑応答については、県議会ホームページ「会議録検索システム」でご覧頂けます。 <https://www.pref.fukuoka.dbsr.jp/index.php/>

「外免切替え」について県警察本部に対応を求めました（25年6月議会 一般質問）

外国人が母国の運転免許を日本の免許へ切り替えられる「外免切替え」ですが、福岡県内においては、同制度で日本免許を取得した外国人は、2022年1,732人、23年2,226人、24年2,430人、25年5月末現在で1,054人で前年同期比プラス47人と、増加傾向にありました。国籍については、上位3ヶ国がベトナム、中国、韓国の順番となっています。

これまで、宿泊先の滞在証明があれば試験を受けられたことから、旅行者が日本に滞在中に受験する「パッケージツアー」などもありました。この間、取得した外国人による交通事故、交通ルール無視などの事案が一部発生し、制度の見直しが取り沙汰されていました。そこで、この問題について県議会で取り上げ、県警察本部の対応を求めました。

こうした全国的な動きにより、国では「外免切替え」制度の手続き内容を厳格化する『道路交通法施行規則』が改正され、25年10月1日より①住民票提出の義務化（観光客は切替不可）、②筆記試験の難化（問題数50問・正答率90%以上）、③技能試験の評価基準も新規免許並みとなりました。

警察庁によると、これにより交通ルールを確認する「知識確認」の通過率が約4割となり、24年時点の約9割から大幅に減少したと公表。



↑26年3月2日「NHK 9」報道

日本は少子高齢化による労働人口の減少、人材不足は全産業で深刻さを増す中、海外から労働者の受け入れは必須な状況にあります。また、留学先に日本が選ばれるためにも、日本国内で仕事をしたり、日本に留学中で車の免許が必要など、正当な理由で「外免切替え」を行う方々へのサポートも必要なことから、丁寧な対応も求められます。

新「福岡武道館」は2026年1月に開館しました！

福岡県が博多区の県営「東公園」一角に建設を進めていた新「福岡武道館」は、2025年12月に建設が完成し、26年1月に開館しました。

建物は鉄筋コンクリート造り、地上4階・地下1階建てで、施設は「武道場」「弓道場」「体育館」「相撲場」となっています。いずれの観客席も車椅子席が備えられています。

多くの皆様にご利用頂きたいと思っております。

